

稲城野草散策の会

野草スケッチ キンミスヒキ (バラ科)



1996/08/19 稲城市矢野口 絵と文 Ta

学研（学習研究社）から「野花」というムックが出たことがある。
この創刊号に、私のスケッチと解説が載った。
1997年11月のことである。

会報第71号 2010年11月14日発行 発行責任者 尼子 房夫

この仕事を持ってきたのは、植物写真家のいがりまさしさんだった。

いがりさんは愛知県豊橋市に住んでおられる。

豊橋には「東海のミニ尾瀬」と呼ばれる葦毛（いもう）湿原があって、毎年オフを開く。

葦毛湿原のオフに参加したときに、野花に原稿を書かないか、という話がいがりさんから持ち込まれた。

いがりさんは野花の企画段階から参画していたらしい。

学研の編集部から正式な依頼があり、内容についての検討が始まった。

『『野花』フィールド図鑑』というタイトルで、巻末とし込みとする。第一回は「冬の木の花図鑑」と「似たもの植物図鑑」としたい。などの編集方針が示された。

私としては本の出版に関わることは初めてであり、戸惑いもあったが、編集方針に異論はなく、原稿作りにかかった。

その頃は1年間の浪人生活を終えて、再就職していた。

販売管理などのシステム設計をする、SEとしての仕事が見つかったのだ。

収入は得られるようになったものの、時間はままならない。

編集担当のTさんに原稿を見てもらい、今後の進め方を打ち合わせたのは、観察会で城ヶ島へ向かうバスの中であった。それしか都合がつかなかった。

Tさんは観察仲間のNさんの友人で、Nさんも編集を手伝っているという。

「図鑑」とは銘打っても、一回に載せられる量はわずかしかとれない。

「似たもの図鑑」は2種類の比較を8組載せることになった。

たとえばススキとオギの写真を2枚並べて、見分け方のポイントを、イラストと文章で説明する、という趣向である。

写真には、植物写真家の永田芳男さんのものが用いられた。

イラストは、これまでのスケッチや図鑑を基に、比較ポイントだけを新たに描いた。

たとえばツリガネニンジンとソバチの、花だけのイラスト、というふうに。

その中でキンミズヒキとヒメキンミズヒキの比較があって、これらは1個の花だけを描いてもかえってわかりにくい。花穂ごと見る方が比較には適している。

そこでこの2つは、スケッチの花穂部分を切り取って、そのまま使った。

「野花」には、@N i f t yのフォーラムで知り合った観察仲間が何人も執筆し

ている。

いがりまさしさんを筆頭に、前述のNさん（アマドコロの項）、ハチスカさん（エビツルの項）、Robinia さん（ニセアカシアの項）、パソコンライターの塩川泉さん。

カッコ内は、このシリーズに登場したときの植物名だ。

皆本名で執筆しているので、ハンドル名しか知らない人にとっては、どれがどれなのかわからないかもしれないが。

「野花」は、秋に出た創刊号に続いて翌春に2号を出し、様子を見ていずれ季刊に持っていく予定だったらしい。

だが、残念なことに、本当に惜しいことに、創刊号で打ち切りとなってしまった。観察仲間内の評判はとても良かったし、次号に対する期待も高かったのであるが・・・

学研側の事情がいろいろあったことを後で聞いた。

私にとって、植物関係としては初の「仕事」だったし、連載ということで張り切ってもいたのだが、あっけない幕切れであった。

このエッセイを書くにあたって、「野花」を引っ張り出してきた。

ぱらぱら眺めても、いい企画、充実した内容だったと改めて思った。

廃刊になったのは残念ではあるが、私もこれによって得るところが大きかった。

いつの日にか、このような企画が再び世に出ることを期待したいと思う。

（2000年9月記）

* * * * *

〔観察記録〕 10月17日 真鶴

9時56分真鶴駅着の電車で参加された方は、10時ちょうど発のバスに慌ただしく乗って、お林展望公園へ。公園に集まった方は、40人以上、去年の49人よりはやや少なめですが、遠方での観察会にもかかわらず、熱心な方々の人数には驚かされます。

駅から岬までの道のりのうち4分の3ほどは、バスでショートカットしたことになります。

真鶴半島が、箱根山の火山活動でできた半島だとはぼんやり知ってはいたのですが、あんまり外輪山っぽくないし、といって溶岩が箱根から流れ出たと考えるのは不自然だと思っていました。そう思って調べてみると、15万年ほど昔、箱根山の火山活動の過程で真鶴周辺でもいくつかの火口が生まれ、そこから噴出し

た溶岩ドームが真鶴半島を形成したのだそうです。これら溶岩ドームを形成した安山岩は小松石と呼ばれ、特に半島産の小松石は新小松石として、江戸前期には小田原城、江戸城の石垣に利用されて有名になったそうです（現在は半島での石の切り出しは行われていないみたいです）。

とまあ、このあたりは、にわか仕込みの知識で、スイマセン。

お林展望公園の隣には中川一政美術館があり、その脇の十字路から森林浴遊歩道が始まります。入口周辺はかなり湿った場所で、何種類かのシダが観察でき、足元はぬかるんでいました。ずっとぬかるんでいると、滑りやすいし、困ったなと思いましたが、途中からは足元も乾いていて、快適な散策となりました。番場浦遊歩道から駐車場に出て、そこからしおさい遊歩道を下って、海岸に出ます。

海岸近くの林を歩いている途中「魚付保安林って何だ？」という声がありました。私はその看板を見ていないのですが、以前、東伊豆の海っぺりの林で魚付保安林（うおつきほあんりん）の説明プレートを見たことがあります。昔は「魚つき林」と呼んでいて、海辺近くの林が魚を集めると考えられていたそうです。科学的にそれを証明するのはなかなか困難なのですが、漁師たちの経験はさすがに否定しがたく、現在では森林法で、数十種類ある保安林のひとつとして、法的な保護の対象となっているのです。

気がつくと、青空が広がっていて、直射日光の下はさすがに暑い。

真鶴の海岸は基本的には岩がゴツゴツゴロゴロしているような磯ですが、多少は砂が吹き溜まっているような浜っぽいところもあり、その辺には浜の植物も生息しています。しばらくアップダウンのある遊歩道を歩いて、岬の突端近く、三ツ石が見渡せる場所で昼食タイムとなりました。

午後は、岬周辺を観察した後、階段を延々と上って、台地上のレストハウスというか売店というか「ケープ真鶴」へ、階段下（標高4m）との標高差は54メートルです。やれやれ。

ここでいったん解散した後、まだ元気な参加者は、森林浴遊歩道を歩いてお林展望公園に戻りました。

帰路のバスの中で、健脚組の女性からは「今日はちょっと物足りなかった、もっと歩けたのに」という声を聞きました。一方で、「ケープ真鶴」に至る階段でへばってしまった方もいます。

参加者の体力差には相当のバラツキがあり、誰にも満足してもらえないコースの設定は難しいのです。しかも、バケモノのような体力と食欲と飲酒量を誇る広沢さんは別格として、世話役の体力もかなりシンドくなっています。実際、数人の世話役は「ケープ真鶴」でリタイアしています。

う〜ん、そろそろ稲城の会の運営も、見直す時期なんだろうかなア〜？

ま、それはともかく、今回の観察会でアナウンスのあった(「ケープ真鶴」までの)植物リストを列挙しときま〜す。(とーはもん)

▼観察記録(番号順)

(1)サンゴシトウ(花)、(2)アメリカデイゴ(花)、(4)ホシダ、(5)ベニシダ、(6)オオイタチシダ、(7)コチチミザサ、(8)ミソシダ、(9)キチジョウソウ、(10)イヌビワ(実)、(11)シロダモ、(12)スタジイ、(13)ヤブミョウガ(実)、(14)オオアリドオシ、(15)ノササゲ(花)、(16)リョウメンシダ、(17)クスノキ、(18)タブノキ、(19)ハウチャクソウ(実)、(20)ヤブニッケイ、(21)マンリョウ(実)、(22)ムクノキ、(23)ムラサキシキブ、(24)カラスウリ(実)、(25)ヤマホロシ(実)、(26)フウトウカズラ、(27)ムラサキニガナ、(28)ホソバカナワラビ、(29)マルバグミ、(30)アスカイノデ、(31)タチシノブ、(32)フモトシダ、(33)ヤナギイチゴ、(34)メヤブマオ(花)、(35)コモチシダ、(36)ヌマダイコン(花)、(37)オニヤブソテツ、(38)タラノキ、(39)トベラ(実)、(40)アメリカイヌホオズキ(花)、(41)ハゼノキ(実)、(42)コセンダングサ(花)、(43)ススキ、(44)カラスザンショウ(実)、(45)カジイチゴ、(46)ツボクサ、(47)オオオナモミ、(48)ママコノシリヌグイ(花)、(49)エビツル(実)、(50)ツルソバ(花)、(51)ラセシタソウ、(52)テリハノイバラ(実)、(53)ツルナ(花)、(54)コメナモミ(花)、(55)ポタンボウフウ(花)、(56)イソギク、(57)ハマエンドウ(花)、(58)ハマヒルガオ、(59)ネコノシタ(花)、(60)ノブドウ(実)、(61)アキグミ、(62)ヒヨドリジョウゴ、(63)オオバヤシャブシ(実)、(64)コマツナギ、(65)マルバアキグミ(実)、(66)コマツヨイグサ(花)、(67)ハマゴウ(花)、(68)ハマエノコロ、(69)ハマカンソウ、(70)ソナレムグラ(花)、(71)ハマボッス、(72)タイアザミ(花)、(73)クサギ、(74)ホラシノブ、(75)アキカラマツ(花)、(76)エノシマキブシ、(77)シロバナマンジュシャゲ(花)

▼謝辞 とーはもん

おっと、謝辞を忘れていました。

このところ、かなりの頻度でウグイス嬢をお引き受けいただいている浅岡さん、毎度のことながら有難うございます。浅岡さんの声は、ソフトなのに聞き取りやすく、記録係としては、大変助かります、今後もよろしく願います。

ネーム貼り係の満井さん、ご苦労様でした。(あ、世話役なんだから謝辞は必要ないか)

汗だくになって奮闘していたのに、脇で「ウとオ、ズとツ、の表記を間違えないように、『ホウズキ』ではなく『ホオズキ』です」なんて文句ばかり言って、スイマセンでした。

でも語源から言うと「ホオズキ」ではなく「ホオツキ」だと思っんですけどね。日本語はホントめんどくさいです。私の住まいは根津なんですが、引っ越した直後に、家族が、ワープロソフトで根津が変換できないと文句を言ってました。

「nezu」ではなく「nedu」と入力すれば変換できると教えたのですが、「でも、地下鉄の駅には『nezu』と書いてある」と逆襲されました。確かに地下鉄の駅は「根津 ねづ nezu」となっていました。

ネームの回収はいつも内山会長とその周辺にいる方にご協力いただいています。今回、私はずっと前がかりのポジションにいたので、回収係を確認していませんが、ご協力いただいた皆さん、有難うございました。

稲城の会はこうした皆様のご協力で成立しています。特に、前の方で写真撮影に熱中されている皆様にお願いです。ウグイス嬢とネーム貼り系の作業にご協力下さい。後ろから「ネームを貼ります」と声がかかったら、たとえ撮影中でも速やかに脇に寄ってください。(とーはもん)

▼お礼 T a

参加のみなさま、お疲れさまでした。

久しぶりの海岸植物、楽しんでいただけましたでしょうか。

私も充分楽しみました。みなさまのおかげです。ありがとうございました。

(遅い御礼で申し訳ありません m(_ _)m)

思いがけなくハマエンドウやハマゴウの花が見られました。

マルバアキグミの果実も久しぶりに見たような気がします。昔、高校の裏の砂山にグミ（マルバアキグミだったのかも）がたくさんあって、放課後、砂山を散策しながらグミを食べたことを思い出しました。そういえば、ヤナギイチゴに果実がぜんぜんついていませんでしたね。図鑑によれば6～12月に熟して食べられる、と書いてあるのですが・・・

》世話役の体力もかなりシンドくなっています。実際、数人の世話役は「ケープ」

》真鶴」でリタイアしています。

》う～ん、そろそろ稲城の会の運営も、見直す時期なんだろうかなア～？

そうですね。私も腰痛で昨日から病院通いです。

来年度から、定期的な観察会は、アップダウンの少ない、短い距離を基本にする

ことになっていきそうですね。不定期の「オフ（フローラオフ）」ではそういう制約を設けず、歩ける人に集まってもらう、ということになるのかなあ。今年度はフローラオフをぜんぜんやっていませんが、私の都合によるところが大きかったです。

そろそろ余裕が出てきたので、なにか始めましょうか。（T a）

〔行事予定〕 2010/12/19（日） 焼き芋大会

項目	説明
集合	午前10時、京王相模原線京王よみうりランド駅 ※会旗目標 京王よみうりランド駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で3駅目 京王よみうりランド駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市穴沢天神での恒例・焼き芋大会です。穴沢天神で解散。最寄駅は京王よみうりランド駅です 焼き芋準備グループと観察グループの2班に分かれて行動する予定です
見所・その他	たき火(^_^) 冬芽、常緑シダなども観察します 当会の忘年会を兼ねます。芋、酔い子の飲み物などは幹事が用意します。差し入れ大歓迎！！
コース	観察グループのコース： 駅前～よみうりランド遊歩道～小沢城址～穴沢天神（焼き芋大会） （解散：15時30頃）

※雨天決行 参加申込み不要、会費当日500円

〔募集・2011年度観察会の推薦場所〕

2011年度の観察会の希望の場所を募集します。皆様からのご提案をお待ちします。月例の場所としては、12月の焼き芋大会、1月の七草摘み、稲城ふれあいの森、三沢川下りなど稲城周辺での観察会があります。ほかにバスハイク観察会1回を考えています。

過去のバスハイク観察会は、000806（日）乙女峠、010729（日）三ツ峠、020627（日）三窪高原、030724（木）高峰高原、040722（木）入笠山、050714（木）高ボッチ、060427（木）函南原生林、070720（金）霧ヶ峰高原、080523（金）清里、090627（土）すずらんの森、100805（木）池の平です。

〔行事予定〕 2010/11/14 (日) 天覧山

項目	説明
集合	am10時、西武池袋線飯能駅 ※会旗目標 ※小雨決行 改札口は一箇所です
交通	地下鉄副都心線 準急：澁谷8：39→新宿三丁目8：45→池袋（副都心線）8：51→練馬9：02→所沢9：26→飯能9：51 （西武池袋からは、練馬で乗り換えになります） 西武池袋線 急行：西武池袋8：50→所沢9：13→飯能9：37
行く先 (解散場所)	天覧山 西武池袋線飯能駅 pm3時半頃解散予定
見所 その他	木の実、草の実
地図	
コース	飯能駅→天覧山→飯能駅 (15：30頃)

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円